

校務の情報化の推進には、「校務支援システム」の導入が効果的です。



そこで今回は、「校務支援システム」とはどのようなものか、その特長、活用例や導入効果についてご紹介します。

参考:教育の情報化ビジョンより

学校における校務の情報化は、教職員等学校関係者が必要な情報を共有することによりきめ細やかな指導を可能とするとともに、**校務の負担軽減**を図り、**教員が子どもたちと向き合う時間**や**教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間**を増加させ、ひいては、**教育の質の向上**と**学校経営の改善**に資するものである。

! 校務支援システムの特長

POINT

教職員間の情報共有

スケジュールや掲示板、共有キャビネット等の機能を利用することで、校内だけでなく、学校間、教育委員会と学校との情報のやり取りが可能になります。それによって、教職員間の**情報の伝達やコミュニケーションの促進**につながります。

家庭や地域への情報発信

学校ウェブサイトからの情報発信を行うことで、**保護者や地域住民の学校への理解を深める**ことができます。CMS等を利用することで、情報発信を容易にし、より効果的に地域への理解を促進します。

校務文書

通知表、指導要録の作成等の成績処理や、学籍、出席管理などをアプリケーション上で行う事で、作業ミスの軽減、情報の二次利用、転記作業の簡易化によって**校務の効率化、時間削減**を望めます。

サービス・施設管理など

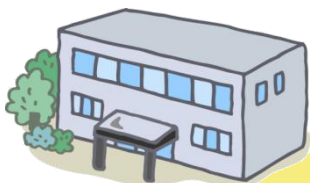
休暇・出張などの教職員のサービスについて、電子申請と電子決裁を行うことができます。施設や備品の予約等をシステム上で行うことができます。



校務支援システムの活用例

学校内

- ・朝の打ち合わせでは、伝達事項はメールしておき、その分で空いた時間を意見交換にあてることができます。
- ・成績処理では、児童・生徒の名前、住所、連絡先や所見欄などの情報を二次利用することで作業効率を上げることができます。



教育委員会と学校間

- ・従来、紙の文書のやりとりやFAXが届いたかの確認に手間をかけていたものを、メールや文書回覧機能を使うことで、素早く確実に行うことができます。



学校間

- ・校長会や視聴覚部会など学校間で行われる部会の情報共有が容易になり、会議の効率化ができます。
- ・児童・生徒の転校や教員の異動などの場合、各校で管理していた情報を効果的に利用できます。

学校と地域・保護者間

- ・特別な知識の無い先生でも簡単にホームページが作成できるため、その日にあったことをすぐ家庭に伝えることができます。



校務支援システムの導入効果例

校務支援システム導入1年以上の学校の先生方に聞きました！

Q.負担が減少した校務は？

出席簿	77.2%
指導要録	63.9%
通知票	60.9%

Q.感じている効果は？

時間外業務減少	28.1%
授業準備(教材研究)増加	21.5%
作品等を見る時間増加	17.8%